



プロバスだより

30年度会長標語：知的好奇心を活用し、健康寿命の延年を計り

健全な高齢化社会の一翼をになおう！ 第95号

平成30年度(2018年度)

会長・奥 修兵

幹事・小島 康義

平成30年9月20日

第93回 例会の記録等

クラブ第9年度 第3号

理 事 会

日時：平成30年9月13日(木) 10:00~12:00
場所：高幡不動尊客殿2階控室 出席7名欠席2名
議案：下記幹事報告の通り。

第93回9月例会 司会：例会委員・保母錠治

日時：平成30年9月20日(木) 12:30~15:00
会場：高幡不動尊客殿 2階
出席：実働会員41名中32名(出席率78.0%)
資料：例会次第、理事会議事録、プロバス便り94号、
高尾山薬王院精進料理のお知らせ

会長挨拶

会長：奥 修兵

今日は、最初に残念な報告をしなければなりません。
8月14日村瀬会員が間質性肺炎で亡くなりました。
生花をお届けするとともに、私・奥がクラブを代表して通夜に参列して参りました。ここで皆さんで黙とうをプロバスの旗に向かい奉げたいと思います。黙とう！

「暑さ、寒さも彼岸まで」昔の人はうまく表現した様に、
金木犀が香り、みなさんと一緒に植えた彼岸花が満開の季節を迎えました。

日本は四季折々の季節感を感じられる国であります。
我が家でも四季の変化を楽しんでゆきたいと思います。
本日は、お客様として、多摩プロバスクラブ会長の澤雄二さまと幹事の鈴木泰弘様が例会を通して参加してくださいませ。

そして、本日のご講話をいただきます高幡不動尊貴主・杉田純一様をご紹介します。

幹事報告

幹事：小島 康義

- *災害救援金の使用目的の基準の検討。
西日本豪雨災害救援金と北海道地震災害救援金は、各25,000円を読売光と愛の事業団を通して募金する。(9月28日掲載)西日本救済金は、期限切れにより返却。(きずな基金より支払い。)
- *10周年記念事業準備計画(後藤副会長)案
実行委員長兼該当年会長の選抜案提示。
会場、講師、人数、予算の算定等の検討に入る。
- *もみじ灯路実行委員会(澤田会員指名)
- *高尾山薬王院見学の募集要項提示。

委 員 会 報 告

○例会委員会

宮地委員長

今月の報告事項はありません。

新会員として、入会された方の所属は、当年度は例会委員会、次年度は希望により決定します。宜しくお願いします。例会終了後懇親会の打合せをしますのでお残りください。

○地域奉仕委員会

渡辺委員長

9月27日(木)に第21回ひの新選組まつり、第4回実行委員会が多摩平ふれあい館であります。議題は各部会の実施報告・決算報告等です。

報告事項として、来年は土方歳三没150年のシティプロモーションについての説明があります。「土方歳三は明治2年(1869年)5月11日に函館で亡くなって、来年(2019年)で、没150年を迎えます。

今年度中に健康レクリエーション吹き矢のインストラクター資格を増やし、社会貢献活動で活動中の子ども教室「ひのつつ」の支援に加え、高齢者の健康と延年を計る目的に「健康吹き矢教室」開催が出来る体制作りに取り組み、プロバスクラブの事業としての基礎を固めたい。

○情報委員会

山本委員長

プロバス便り94号をお届けいたします。今月は行事が多くて初めての4頁建てとなりました。次回から4頁の場合は、A3にて印刷してお届けいたします。

○研修委員会

澤田委員長

研修委員会の30年度第3弾の企画は、今も大人気の「高尾山薬王院」の施設見学です。

「その歴史、その魅力、その人気に触れ、さらに秋の兆しと精進料理も味わおう」というちょっと欲張った楽しみなコースです。

貫主からの有意義なお説教も頂きます。

とき:10月25日(木)9時ケーブル駅下集合

ところ:大本山 高尾山薬王院(精進料理と飲み物付き)

「高尾山の縁起」高尾山薬王院は、約1300年前、聖武天皇の勅令により建立された祈願寺です。戦国時代(15~16世紀)は、武田信玄、上杉謙信ら多くの武将に守護神として崇敬されました。江戸時代は、徳川家から寺領地の保護を受け発展。現在では、高尾山薬王院は成田山新勝寺、川崎大師平間寺とならぶ真言宗智山派の三大本山の一つに数えられています。さらなる詳しい歴史は、当日現地で皆さんと一緒に勉強し、高尾山の語り部となりましょう。

○会員委員会

黒澤委員長

今月には、西湖秀明さんと村上光さんの2名が入会されます。実働 41 名となりますので、益々プロバスの活動が活発となることでしょう。まだ、入会予備軍が揃っておりませんので期待してください。

○健康吹き矢サークル

林専任理事

日野市・健康吹き矢サークル「活動状況『吹き矢・出前講座』」は、小学校放課後子ども教室「ひのっち」のメニューとして実施しています。・8/29:滝合小 24 名、9/5:豊田小 32 名、・9/19:旭が丘小 43 名、9/27:南平小の予定。
(指導者は、宮地、山本、本部、林)

○ゴルフ同好会

矢野同好会会長

9月6日に開催された日野ロータリーと飛火野ロータリーの合同コンペの結果詳細は別掲の記事・写真ご参照ください。次は10月19日多摩3プロバス、その次は11月16日に日野プロバス第14回大会が控えております。
新しい有力なメンバーの加入により益々の激戦が期待されます。

ご来賓のご挨拶

多摩プロバスクラブ 会長 澤 雄二 様

多摩クラブ 15 期目の会長として就任いたしました。近隣プロ



バスへの挨拶をしておりますが、東京都内には日本橋には一つありますね。多摩の三つのプロバスの連携として何かを作り上げようと考えます。
多摩プロバスクラブは、平均年齢 79.5 歳で、四捨五入して 80

歳を超えたが、10月に岡野会員、1月、4月にも創立に関わった3名が亡くなりました。4月の総会を期して2名が加入しましたが、日野の会員増の秘訣を伺いたいものです。

八王子プロバスの生涯学習塾を見習って、多摩プロバスクラブでも寺子屋塾を立ち上げます。八王子プロバスは、15コマの教室を会員が22年間続けていることは、毎年新しい事柄を発表する努力を積み重ねていることを評価しております。

多摩プロバスクラブは、定年はない！歳をとっても死ぬまで生きてゆこう！？の精神であります。

9月のご講話：高幡不動尊貫主 杉田純一様

法話が大嫌いだが、昔はお経がうまくて良い声だった。



50歳で病に倒れて声ガラガラになりました。高幡不動尊は、空海の真言宗・智山派の大きいところで18派の一つであります。総本山は、京都東山・知積院です。大本山が関東で3つ・成田

山、川崎大師、高尾山のもとに幡不動尊と名古屋大須観音が別格本山で全国に 2850 寺があります。智山派は、東日本に多く存在し、特に千葉県、埼玉県に沢山あります。

私は、昭和24年生まれですから、戦後派として戦争は知りません。

高幡不動にきた当初は13名の僧侶が、現在は50名に増えました。昔はノンビリとしていて、節分過ぎると暇でした。就業規則もなく、40歳過ぎても給料はどぶり勘定でした。年間50万～100万円の給与で、結婚のときには嘘をついて何とかりましたが、妻は学校の先生で金に無頓着な性格で助かりました。

40 台前半に若い人に入ってもらうために就業規則をつくりました。給与を支払える様になって休みも与えました。今は昔から見れば恵まれていますね。泊まり勤務が、月に20日～25日もあったが、酒の飲み放題が良かったね！川澄御前は、コップ1杯で真っ赤になったが、秋山御前は、大酒のみで、一杯飲んでから仕事に出かけました。

俳句を70歳の手習いで始めました。人口の20%が70歳以上ということですが、私も仲間入りしました。50歳までは医者と縁がなかったが、急に倒れて首から上が顔面神経麻痺、右半身感覚障害で、今では、注射は左手をだします。トイレ駄目、風呂駄目、ベットの上で過ごし、入院生活を楽しもうと髭を伸ばしました。倒れて他の世界の人を知り、看護婦の世界の大変さも知りました。

倒れて視野が広がりました。10年間は駄目でありましたが、いろいろな人と付き合っただけでよいことが多かった。笑顔でいなければならぬし、嫌なことがあっても色々な人に助けられていることを認識しました。

川澄御前は、大学を出てから60年近く高幡におられたが、ほとんど休まなかった。毎日高幡に来て俳句をつくっていました。会員手帳の最初の頁にあるように、健康が最も大事であります。

100歳以上が4万人の時代ですが、薬を飲まずに健康で長生きしましょう。亡くなる時に、息子が80歳から90歳で喪主をやるのが良いですね。プロバスクラブは、おじいちゃんクラブでなく、是非とも長生きして、いつも笑顔でいてください。

新入会のご挨拶

西湖 秀明 さん

サイゴと読みます。両親が富山県の出身でした。八王子の西武百貨店の店舗開発が縁で50歳で独立しました。大学事業のアドバイザーとして、生涯学習センターや学生生活の支援が中心です。実践女子大、明星大学、武蔵大学との関わりが多いが、木曜日に会議が多いので、出席が覚束ないが。プロバスの趣旨に賛同して加入しました。

村上 光 さん

茨城にて昭和24年に生まれ、日野市鹿島台に50年住んでおります。

妻と娘・息子(共に独立)の家族です。三井物産に24年勤め、造船、海運にて韓国、ギリシャに駐在しました。2006年に早期退職し、56歳で独立しました。海運業で四国3割の生活で瀬戸内にヨットを持ち楽しんでおります。



8月総額 8,000 円(8名) 30 年度累計 27,500 円

- ・曹 一男 妻が肺の手術が無事終わり退院してきました。
- ・本部皓允 今日は私の誕生日の月です。
- ・後藤一郎 8月の移動例会の後の二次会で、有志の方々にごちそうになりました。
- ・仲村房次郎 台風 21 号の関空足止めを 3 日間泊まり、改めて、成田発で山東省に。盛大に子供たちの同窓会が無事終わり帰国に対して4コイン。
- ・疋田久武 杉田御前様の卓話を楽しみにしております。
- ・小島 馨 杉田貫主、今日は楽しみにしております。西湖さん、村上さん ご入会おめでとうございます。
- ・吉ノ元身良 日野市の市民プールで水泳大会に出場しました。クロールです。300 名を超す参加者でした。
- ・澤田研二 光バンド大好評でした！今年で 30 周年n光バンドコンサート。プロバスの皆さんの応援もあり、お陰様で大盛況、大好評でした。ありがとうございました。

誕生日のご挨拶

傘寿の誕生日を迎えて

本部皓允さん

今年9月、傘寿の誕生日を迎えることが出来ました。この80年



を振り返ってみると、いろいろな事がありました。小学校に入学した年が昭和20年、その年の8月までは太平洋戦争の最中で、授業中に空襲警報のサイレンが鳴り響き、急遽帰宅を命じ

られました。帰宅途中、米軍戦闘機に襲われたこともあります。そして終戦を迎え、貧困の中で育てられました。その後、私たち世代の成長と共に、我国の経済も成長し始めました。私は機械技術を選考し、この分野で生きてきました。35歳にして独立し会社を設立、独自の事業を展開しました。その後、失敗と成功を繰り返し、苦しみの中で生きてきました。

偶然にして55才に設立した会社が成功し、世界43ヶ国に自社製品の販売拠点まで作ることが出来ました。後継者がいないため、2013年スイス国の大手企業にその会社を売却、現在に至りました。

一日 1 万歩運動33ヶ月連続達成！ 澤田研二さん

9月3日で74歳になりました。私にとってとはとても意義のある年齢で、それは自分の父親が64歳という若い年齢で亡くなっ



ていることから、その年齢を越えるときはやはり意識しました。しかしそれから10年親より長く生きられたということで感無量であり、かつ意識してます。しかし母からは、父さんが

早かったんで、その分まであなたは永く生きなさい。私の歳まで(98歳で4年前他界)と言われてはいますが、これだけは約束できません。

ただ自分の健康維持のために心掛けていることの一つとして、毎日のウォーキングで一日一万歩(平均で)を、平成28年1月から連続 33 ヶ月継続し頑張っています。今後は無理しない程度で頑張っていこうと思っております。

長命の家系に生まれ

魚住 徹さん

9月29日で72歳となりました。そろそろ終活の準備とも思うのですが、プロバスの皆様の平均年齢からすると、「若造がまだまだ早いぞ！」なんて言われそうですね。



実は、私の家族は両親がまだ健在で、父は今年22日で満101歳4、母親は8月末で95歳となりました。ですから、自分のことよりも両親に「その日」が訪れるまで、心穏やかに、楽しく日々を過ごせるよう

手助けしたいと心している今日この頃です。

ゴルフ同好会便り 会長 矢野凱弓

久保会員見事な復活優勝を飾る！！

ロータリーとの日野3クラブコンペ 関西に大被害を齎した大型台風21号が北に去り、八王子の9月6日はやや蒸し暑い絶好のゴルフ日和。ロータリーとプロバスのゴルフ愛好家24名が和気藹々とプレー。今回の幹事クラブは日野ロータリー。プロバスよりは9名が参加。従来若干遠慮がちの成績が続いていたが、今回は優勝と3位に入賞。グロススコアでも80台プレーヤー6名中4名がプロバスと大いに活躍。実力者久保氏がホームコースで見事な復活優勝。2位の村上氏は此の3クラブコンペに減法強く、4回出場場で優勝2回と準優勝1回。3位黒澤氏は85で回り、グロスなら2位の成績。小林氏も85だが、新ペリア戦のハンデが最上位の6と出て、ネットスコア順位では22位に沈む。青島氏もシングルハンデ(9.6)が適用され、上位入賞は逸した。最高齢の後藤一郎氏は技術賞(ドラタン)を二つとも獲得。なお、ベスグロは日野RCの強豪飯作氏の84、連続の受賞です。



地域奉仕委員会

健康吹き矢グループの活動報告

林 良健専任理事

9月27日、南平小学校において、「健康吹き矢サークル」出前講座が実施されました。新人、顔なじみなど約30名の児童が参加しました。子供達も吹き矢に慣れてきており、学校側との連携もスムーズになってきており、効率的な教育ができました。今回のプロバスからの指導員参加は、林、山本、本部、宮地の4名でした。



宮地インストラクター



本部インストラクター



山本インストラクター

地域奉仕委員会

北海道地震救援募金へ

北海道胆振東部地震（ほっかいどういぶりとうぶじしん）は、2018年9月6日午前3時7分に北海道胆振地方中東部を震源として発生した地震である。地震の規模はM6.7、震源の深さは37km。最大震度は、震度階級で最も高い震度7で、北海道では初めて観測された。気象庁は、この地震を「平成30年北海道胆振東部7地震」と命名した。

未曾有の「全道ブラックアウト」

震源地近くに立地する震源地近くに立地する北海道電力苫東厚真火力発電所が被災した。当時の発電量の半分近くの電力に相当する1、2、4号の3機合計165万kWもの電力が一瞬のうちに失われ、系統の他の発電所も発電設備保護のために順次停止し、北海道全体が停電、いわゆる「ブラックアウト」状態に追い込まれた。北海道最大の火力発電所である苫東厚真火力発電所が地震で損壊、停止したことでブラックアウトが引き起こされた。同発電所ではボイラー配管からの蒸気漏れ、タービンからの出火があったという。

東京日野プロバスクラブは、
読売光と愛の事業団へ支援金
「きずな基金」より25,000円贈呈



閉会のことば 後藤紀之副会長

「9月16日で当クラブも満8年を迎えました。2年後の10周年記念式典に向け、そろそろ準備を始めなければと思っています。若いころは”まだ2年もあると”いう感覚でしたが、最近では”あと2年しかない”という感覚になって来ました。

準備委員会の発足を含め、皆様に色々とお手伝いして頂ければなりませんが、宜しくお願ひ致します。

今日はこれから本格的な雨になる予報ですので、皆様お気をつけてお帰り下さい。」

編集委員：情報委員会

山本英次・小西弘純・本部皓允・田口賀夫
吉村 豊・曹 一男・小林昭治
ホームページ <http://www.hinopc.com/>